

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会 理事会 議事録

日時：令和6年5月20日（月）19：00～

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・柳田・住吉・日高・黒木・小澤・田中・永山・坂下・深見・峯戸
松・安藤

欠席者：

I. 報告

報告事項1

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

報告：年会費納入状況について

内容：2024.5.20 現在 総会員数 1128 名中 528 名納入済み(46.8%)

報告事項2

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

報告：退会者について（4名）

内容：下菌みな（シモヅノミナ）北国医院でデイケアすこやか 10671

宮本華歩（ミヤモト カ）自宅会員 85308

園田朋美（ソノダ トモミ）自宅会員

松田朋大（マツダ トモヒロ）ケアサークル長島 41484

報告事項3

提出者：柳田信彦

士会内で立場：学術部

報告：学術部活動報告

内容：

I. 県学会

1. 第33回鹿児島県作業療法学会

1) 学会長：豊永 峻 氏（鹿児島大学病院）

2) 開催日：令和6年9月7～8日（土・日）

3) 会場：鶴陵会館

4) テーマ：作業療法の評価、治療を見つめなおす

5) 講演

- (1) 会長講演：豊栄峻（鹿児島大学）
- (2) 特別講演：高橋香代子氏（北里大学）
- (3) 教育講演①：野中信宏氏（愛野記念病院）
- (4) 教育講演②：西祐樹氏（長崎大学）
- (5) シンポジウム：夏目恵介氏（鹿児島大学病院：主任）
壱岐尾優太氏（長崎原爆病院）

※各講演は1時間で検討している。

- 6) 演題募集中：期間：12/15～4/30。一次募集・二次募集を行う
- 7) 発表形式：ポスター発表（発表者は、5分間の概要を口述形式でプレゼンテーションする。その後30分間ポスター前へ移動し自由に意見交換を行う）
- 8) 学会形式：今回もハイブリッド開催を行う
WEBの環境の整備のために、第32回種子島学会で実績のあるメンバーに協力してもらう
- 9) その他：
 - (1) 1次募集は5演題登録あり。査読開始予定。
5/1～5/31まで2次募集を行っている。終了次第査読を行う。
 - (2) 演題発表は事例報告などの読み替えになるため、その広報も行う
 - (3) 学会のポスターとチラシの発送準備を行い、5月中には会員の皆様の手元に届く予定。
 - (4) 6月に学会会議を行う予定。また、配信のデモンストレーションや必要機材の確認も6月に行う予定。
懇親会について

2. 第34回鹿児島県作業療法学会

学会長：前畑 竜郎 氏（大口病院）（令和7年度・夏～秋予定）

II. 学術誌

2. Vol. 31

- 1) 特集：テーマ（仮）「作業療法士の働く領域を広げる」で検討中
内容：新しい領域で働いている作業療法士について活動について検討中
執筆者候補：(1) 司法領域・医療観察病棟：峯戸松 衛 氏（県立始良病院）
 - (2) 労働領域：坂元ゆかり氏（ハローワーク）
 - (3) 市会議員：辻本貴志さん（枕崎市会議員 作業療法士）
 - (4) 開業：平城氏（産業リハ領域） 行政との協業
田之上氏（生活介護事業所&就労継続支援B型事業所 合同会社Ridicolo）

- 2) 論文投稿数：現在4題（新規投稿数：0件、査読中3題、採択1題）著変なし

論文投稿の広報を行う

Ⅲ. 研究支援事業

1. 研究法研修会：令和6年度研修会テーマ案：5回を予定

初学者対象、基本は平日夜、19：30～21：00に実施予定

1) 事例（症例）報告の作り方

7月19日（金）、講師：黒木 辰朗先生（神村学園専修学校）

2) 研究の流れ（進め方）①：研究のイロハ、研究テーマの決め方、研究疑問を作る手順（Py t t t y ICOPECO）

講師：窪田 正大先生（鹿児島大学医学部保健学科）

3) 研究の流れ（進め方）②：事例を通して研究デザインを学ぶ

4) 研究の流れ（進め方）③：研究計画書の書き方、研究計画書の演習

12月6日（金）、講師：矢野 幸治先生（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

5) 研究スタイルを事例で学ぶ

※各テーマで講師を選定中

研究というと高いレベルのものを行わないとならないイメージがあるため、「研究」という言葉を「臨床疑問の解決」に変えて広報する

2. 研究相談会：広報を行う

3. 課題研究助成制度：

1) 令和4年度

研究助成承認：加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ：中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間：令和4年6月～令和6年5月まで 制度を実施中

2) 令和6年度の募集を広報する

Ⅳ. 学術部コンテンツ

- ・動画のアップを更新中
- ・県学会のホームページを更新中
- ・3年を過ぎたものを削除
- ・今年度の各部局での研修も極力録画していただき、ビデオライブラリー内に登録していただけるよう、各部にも依頼をお願いしたい
- ・コンテンツの発信や、学会案内・演題登録・抄録作成を充実させる

報告事項 4

提出者： 坂下寛志

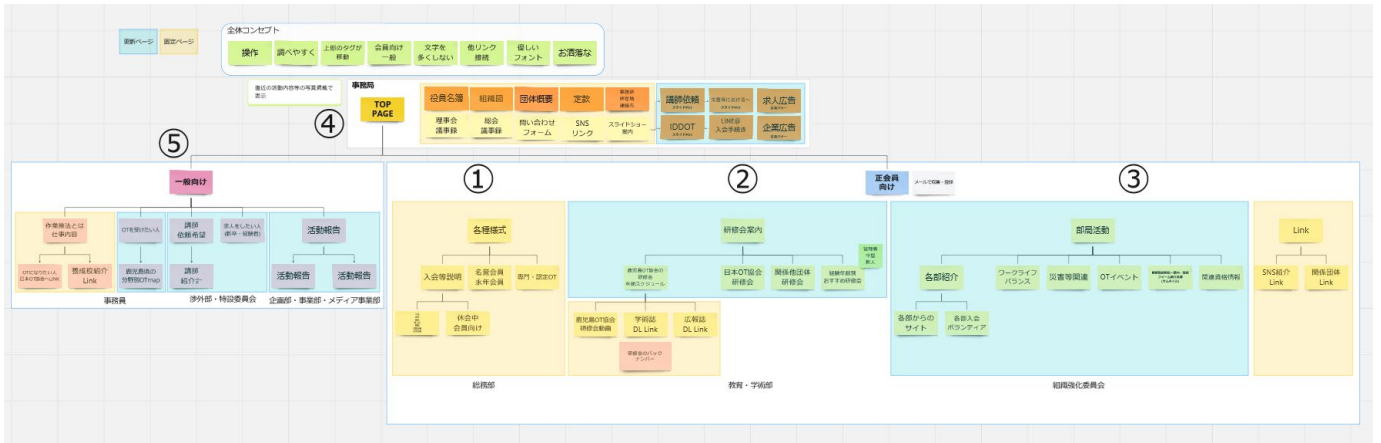
士会内で立場： メディア事業部理事

報告： 県士会ホームページについて

内容：

5月16日 サイバーウェブ担当者と制作内容・スケジュールの検討を行いました。

①現在の制作予定内容



②今後の制作依頼予定

[鹿児島県 OT 協会 HP サイトマップ\(コンセプトマップ\)_分担表.pdf](#)

報告事項 5

提出者： 黒木

士会内で立場： 生涯教育制度推進委員

報告： 2025年度 新生涯学習制度について

内容： ・2025年度入会者より導入

- ・2024年度以前の入会者 2027年度まで猶予期間→2025年度 - 2027年度の共通研修は受講者が減る
- ・前期研修と後期研修 オンデマンドと対面とOJT
- ・まだ内容検討中（日本協会理事会の審議中の項目もあり）で不透明な部分が多い
- ・今後、よんばち委員会で情報リリース 全会員向けの広報は年度後半から行っていく予定とのこと

報告事項 6

提出者： 吉満孝二

士会内で立場： 会長

報告： 退任理事の挨拶

内容：

II. 議案

議案 1

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

議案：新入会員について（7名）

小川嘉騎（カガリ ヨシキ）大隅鹿屋病院

串間希（クシマ ノゾミ）隼人温泉病院 22999

小浦さゆり（コウラ サユリ）自宅会員 28850 再入会

野村由衣（ノムラ ユイ）田上記念病院

久留洋一（ヒサドメ ヨウイチ）卓翔会記念病院

伊牟田俊輝（イムタ トシキ）いまきいれ総合病院 90381 再入会

天野愛（アマノ アイ）鹿児島大学病院

決議事項：承認

議案 2 謝金規定の改定

提出者：吉満

士会内で立場：会長

議案：講師登録制度の運用を前に、優秀な人材の登用と人材（講師や認定、専門 OT）育成を目的に謝金規定の見直しを行いたい。従来の規定は図の通り。

講師基準の見直し

案) 新基準 1：OT) 専門作業療法士、認定作業療法士、他職種) 免許取得後 15 年以上
15,000 円/時間（実習実技指導、事例検討助言 5,000 円/時間）

新基準 2：OT) 免許取得後 10 年以上、基礎研修修了者、他職種) 免許取得後 10 年以上
10,000 円/時間（実習実技指導、事例検討助言 4,000 円/時間）

新基準 3：OT) 免許取得後 10 年未満、基礎研修修了者、他職種) 免許取得後 10 年未満
8,000 円/時間（実習実技指導、事例検討助言 3,000 円/時間）

新基準 4：他職種、異分野の有力講師
20,000 円/時間～応談

謝金規定

(趣旨)

第1条 この規定は、本会の事業に伴う謝金の支払い基準を定めるものである。

(謝金の種類)

第2条 謝金の種類は、講師謝金、原稿料および査読料とする。

(講師謝金)

第3条 講師謝金は、本会が主催する学会・研修会・講習会などにおける講演または講義、実習または実技指導、事例検討会の助言に対して支払う。

(原稿料)

第4条 原稿料等は、本会が発行する機関誌及び学術誌の原稿等に対して支払う。

2 機関誌および学術誌以外の原稿料については、その都度定める。

(査読料)

第5条 査読料は本会が発行する出版物の原稿などの査読に対して支払う。

(謝金の額)

第6条 謝金の基準額は、別表1に掲げる。但し、学会における特別講演などについてはこの限りでは無い。

2 講師謝金は、講義時間30分を単位として支給し、講義時間に30分未満の端数を生じたときは、30分に切り上げて処理するものとする。

3 原稿料および査読料については、別表2に掲げる。

4 原稿執筆謝金の単価は、400字未満は400字に切り上げて処理するものとする。また、翻訳等の外国語を要する原稿に関しては、上記の謝金の単価を1.5倍として計算した額とする。

5 第3条に該当しないものについては、その都度定める。

(規定の変更)

第7条 この規定は理事会の議決が無ければ変更できない。

講師謝金支払基準 (税込)

別表1

支払い対象区分		1時間当たりの支払額		
		講演・講義	実習・実技指導、事例検討助言	備考
講師基準	A B、C以外の上級管理職など	15,000円	8,000円	日本作業療法士協会会員に関しては、講師基準該当区分の支払額の5割相当とする。
	B 資格取得後、或いは当該職種勤務歴15年以上	12,000円	7,000円	
	C 資格取得後、或いは当該職種勤務歴15年未満	10,000円	6,000円	
助手	実習・実技の助手に対する謝礼は、時間給2,000円とする。但し1日の上限を12,000円とする。			

原稿料および査読料支払い基準 (税込)

別表2

区分	機関誌等 (400字につき)	その他の印刷物 (400字につき)
一般	依頼 3,000円	第4条の2に従う
鹿児島県作業療法士会会員	投稿 0円 依頼 1,500円	第4条の2に従う

附則

本規定は、2013年7月23日より適用する。

決議事項：了

議案3

提出者：吉満孝二

士会内での立場：会長

議案：岩手、沖縄県士会との研修会相互乗り入れ（参加）について

IKOT 協議会にて連携を進めつつある3士会で、標記の検討を行っている。

実現可能性について検討をお願いしたい。

①参加資格

案) 各県士会員、県士会会員証の確認、事前の照合

②参加費

案) 鹿児島の場合は無料

③広報

鹿児島の場合はLINE@、HP、他県士会での広報は士会広報部に依頼

④乗り入れ研修会について

(教育部)

現職者共通研修、

7月12日(金) ナイト 「作業療法生涯教育概論」

8月4日(日) AM 「職業倫理」「作業療法の可能性」

11月17日(日) AM 「実践のための作業療法研究」「日本と世界の作業療法の動向」

R7年1月28日(火) 「事例検討会(事例発表、事例聴講)」

現職者選択研修

12月1日 発達障害領域

10月13日 MTDLP 基礎研修(対面のみになりそう・・・)

教育研修 1月19日(日) AM 内容「ポジショニング」

(総務)

臨床実習指導者講習会(5/24 金)

その他、ワークライフバランス研修、自動車運転・・・後日募る

⑤ポイント申請

主催士会で実施(突合が必要な場合は各士会で)

次回6月の定例会のテーマは研修会、学会についてです。

3役はもちろん、教育部、学術部他、研修会運営に難渋している部の参加を求めます。

⇒理事が難しい場合は部長

決議事項：了

議案4

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部

議案：令和6年度公開講座報告と予算について

開催日時：令和6年9月7日（土） 13:00～14:00

講師：下堂 蕨 恵（しもどうぞの めぐみ）先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 リハビリテーション医学・教授

場所：鹿児島大学医学部鶴陵会館ウィリアム・ウィリスホール

受付は令和5年度同様、公開講座の申し込みフォーム 電話 Fax、も検討中

広報：市の街中掲示板（要検討）

チラシ 300部予定（12000円）

学会のチラシでも広報する その他、令和5年度と同様に行う

参加者目標： 200名程度

◎テーマと座長の検討

講演テーマ：鹿児島大学発の新たな脳卒中リハビリテーションと作業療法への期待

座長：窪田教授に打診→内諾済み

謝金について

通常であれば「講師A 15,000/1時間」である

下堂先生は医師・医学部教授・副医学部長であり、知名度も高い

また前任の川平先生に以前の県学会で講演をお願いした際は講師謝金10万円、交通費はタクシーチケットにてお支払い（1万円程度）という状況であった

下堂先生からは講演料や交通費については作業療法士協会の決定にお任せしますとのこと
これらを勘案して、講師謝金の例外規定を検討していただきたい

今回の講演料は6万円（交通費込み）と検討した

予算について

謝金： 60,000円

スタッフ旅費交通費： 6,000円

通信運搬費： 10,000円

会議費： 38,000円

印刷製本費： 25,000円

（スタッフ旅費交通費：当日旅費6名見込み、通信運搬費：オンライン打ち合わせ4回想定、会議費：オンライン打ち合わせ4回想定・当日日当、印刷製本費：イースト朝日 チラシ300枚）

合計139,000円を見込んでいる

次回の会議からは

副会長・藤田さん、副会長・福永さん、教育部長、学術部長、学術部副部長にも参加をお願いしたい

決議事項：講師の講演料について タクシー代含み 6 万円で承認
その他予算について 承認

議案 5

提出者：小澤

士会内での立場：総務部・理事

議案：県オリエンテーションについて

①ファシリテーター

昨日で申込締切。51 名

身体（脳卒中）20 名、（整形）19 名、（その他）5 名、

精神 3 名、発達 2 名、老年期 2 名 離島からはなし

身体領域のファシリテーターが不足しているため、理事からのお手伝いをいただきたい。

<案>

脳卒中 … G1：西さん、G2：泰さん（代議員）、G3：坂下さん

整形 … 中野さん（新理事）、寿さん（新理事）、田中さん

その他 … 住吉さん と考えているが…

老年期と身体（その他）、精神と発達を一緒にするのも一案か。

※精神は向江さん、発達は先成さん、老年期は吉原さんの予定

②グループワーク用の PC の準備の最終確認

吉満、西、黒木、小澤、田中、柳田、福永、坂下、向江、藤田、住吉（2 台）

決議事項：

議案 6

提出者：坂下寛志

士会内での立場：メディア事業部理事

議案：・県士会ホームページアカウントでのドメイン(@kagoshima-ot.jp)で
メールアドレスが作成可能とのこと。

・ドメインを利用したメールの使用を部局ごと等で使用用途の需要があるか

例

kotmedia@kagoshima-ot.jp

yoshimitsu@kagoshima-ot.jp nishi@kagoshima-ot.jp fujita@kagoshima-ot.jp

決議事項：

議案 7

提出者：小澤

士会内での立場：総務部

議案：代議員総会の進捗

決議事項：

議案 8

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：永年会員・名誉会員について

○5/20 現在：永年会員申請者 6名

築瀬誠	ヤナセマコト	1958年5月17日	1894	鹿児島大学
大重勝子	オオシゲカツコ	1961年7月20日	13811	三州脇田丘病院
黒木辰朗	クロキタツロウ	1964/01/13	10051	神村学園専修学校
鎌田克也	カマダカツヤ	昭和36年3月16日	3256	サポートハウス すてっぷ
久木野 智子	クキノ トモコ	1960.12.1	1382	田上記念病院
松元 義彦	マツモト ヨシヒコ	1962年2月22日	1220	鹿児島赤十字病院

名誉会員候補者 4名

名誉会員候補者

	会員番号	氏名	県協会会員
--	------	----	-------

1	1325	竹田 寛	○
2	1894	築瀬 誠	○
3	2689	川本 愛一郎	○
4	1220	松元 義彦	○

鹿児島県作業療法士協会永年会員・名誉会員規程

第1条【目的】

鹿児島県作業療法士協会（以下「本協会」という。）は、本協会の発展と、作業療法の発展に貢献した個人の功労を称えるために、永年会員および名誉会員の制度を設けるとともに、本協会の人的財産として位置づけることを目的とする。

第2条【永年会員の資格】

満60歳に達している正会員で、永年通算20年以上本協会に在籍した者を理事会に候補者として推薦し、理事会の賛同を得た者を永年会員とする。

第3条【名誉会員の資格】

永年会員の資格と同等の資格を有し、以下の各号のいずれかに該当する者を理事会に候補者として推薦し、理事会の賛同を得た者を総会に発議し、その推薦について承認された者を名誉会員とする。

- (1) 会長を務めた者。
- (2) 副会長を2期（4年）以上務めた者。
- (3) 副会長を1期（2年）、理事（副会長期間を除く）を2期（4年）以上務めた者。
- (4) 理事を4期（8年）以上務めた者。
- (5) 永年会員の内、本協会の発展および作業療法の発展に著しく貢献したと認められた者。

第4条【永年会員、名誉会員の会費、退会、機能等】

永年会員、名誉会員に対しては、次年度以降の年会費、年次学会参加費を免除する。永年会員、名誉会員の退会と除名は本協定会款第8条と第9条にしたがう。永年会員、名誉会員は総会ならびに協会事業および会議等に参加し、意見する権利を有しない。

第5条【永年会員、名誉会員の資格の一時停止】

永年会員、名誉会員は、本人からの申し出により、その資格を一時的に停止して、正会員に復帰することができる。この場合、後に本人の申し出により、理事会の承認を経て、永年会員、名誉会員に復帰することができる。

第6条【名誉会員の公表】

名誉会員の氏名は、本会ホームページに記載して公表する。

附則1 本規定は令和5年6月1日より施行する。

附則2 本規程の改定は理事会の議決により行う。ただし特定の会員が著しく不利益となるような改定を行ってはならない。

令和5年5月23日制定

決議事項：永年会員は申請者6名を承認し、文書でその旨お伝えすることに決定。
名誉会員はこの4名候補者に事前に確認してから総会に諮ることに決定。

議案 9

提出者：

士会内での立場：

議案：

決議事項：

その他

IV. 次回会議

臨時：令和6年5月26日（日）

定例：令和6年6月17日（月）19時